

◀ 去る11月10日行われた
市民憲章制定市民会議起草委員会



市民憲章づくりアンケート調査



全市民の英知で 富士市にふさわしいものを

わたくしたち、市民みんなの力で明るく豊かなまちを築いていくための道しるべであり、合いことばとなる市民憲章をつくらうとする、多くの市民からの要請を受けて去る6月各市民団体の代表の方々107名をもって富士市民憲章を考える市民懇話会が発足しました。

そして、市民憲章に対する市民世論調査を去る8月に行ったところ、市民憲章をつくることに賛成の意見は74.2%、反対は2.4%でした。

こうした市民の考え方をもとに、これから市と連携しつつ、市民が主体となって市民憲章づくりにとりくむことが望ましいということから、市民懇話会は富士市民憲章制定市民

会議と衣替えし、本年度（来年3月まで）いっぱいかけて市民の皆さんと一緒に、市民憲章の案をとりまとめていくことになりました。

そこで、市民の皆さんのご意見をこの案づくりに織りこんでいくため全世帯を対象とするアンケートを行いますので、ご協力をお願いします。

12月20日までにポストに入れてください。

各項目の中から最もよいと思うものを1つずつ選び、その番号に○印をつけてください。記入者の性別・年齢もお忘れなく。



学校給食

試食会に出席して

私が、学校給食試食会に出席してみよう、という気になったのは、朝日新聞の『学校給食何を食べているのか』の記事が目にとまったからです。

それを読んで最も憤りを覚えたのは、全ての発想が企業の商業ベースで行われ防腐剤・発色剤・着色料などを無意識のうちに取り込まれている現状だという点でした。

育ちざかりの子どもたちにとって給食は、選択の余地なく口にいらっていきます。一日に十数種類の物質が体内に蓄積されると思うと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、出席して学校側の説明を聞き安心しました。化学調味料は一切使用していないこと。仕入れに当たってはその都度点検購入していること。栄養面でのバランス、添加物のことなど私の頭の片すみにあつた一抹の不安が一っひとつ解消していきました。

出席していた多勢のおかあさんたちからは「おいしいですね」との言葉が聞かれ、私も文句なしに美味しいと感じ、「学校給食はまずい」といった定説はくつがえされたように思いました。

この時の献立は、数日後わが家の食卓にあがりました。
(傘木・三品さん)